年間授業計画　新様式

# 高等学校　令和　8　年度（　1　学年用）　教科：　国　語　　科目：現代の国語

教　科：　国　語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：　第　1　学年　A　組　～　B　組

使用教科書：　（『新編　現代の国語　改訂版』　大修館書店　）

教科　国　語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 領域 書 | 領域 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 日本語を使いこなす<br>【知識及び技能】<br>・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使えるようにする。<br><br>・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解することができるようにする。<br><br>・文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解することができるようにする。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫することができるようにする。<br><br>・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫することができるようにする。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br><br>・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとする態度を養う。<br><br>・正しく適切な表記で書くことを意識し、意欲的に学習に取り組もうとする態度を養う。<br><br>・文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組もうとする態度を養う。 | ●　文を整え、文をつなぐ<br><br>・あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、　簡潔でわかりやすい文を書く。<br>・接続表現を使いこなし、論理的でわかりやすい文章を書く。<br><br>●　ことばの使い分け<br><br>・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。<br>・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。<br><br>●　正しく書こう<br><br>・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。<br>・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 | | ○ | | 【知識・技能】<br>・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。［(1)イ］<br><br>・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。［(1)イ］<br><br>・文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。［(1)オ］<br>【思考・判断・表現】<br><br>・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。［B(1)ウ］<br><br>・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。［B(1)ウ］<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。<br><br>・正しく適切な表記で書くことを意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br><br>・文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 答案返却 | | | | | | | | | 2 |
| | わかりやすく説明する<br>【知識及び技能】<br>・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解することができるようにする。<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができるようにする。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握することができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとする態度を養う。 | ●ナンバーワンか、オンリーワンか<br><br>・接続表現に気をつけて読み、説明のしかたをとらえる。<br>・問題提起とその答えを意識し、文章全体の構成をつかむ。 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。[(1)オ]<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。[(2)イ]<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。[C(1)ア]<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 答案返却 | | | | | | | | | 2 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 聞く力を育む<br>【知識・技能】<br>・話し言葉の特徴や表現の特色をふまえ、正確に聞き取ることができるようにする。<br>・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使うことができるようにする。<br>・書き言葉の特徴を理解し、わかりやすさや適切さ、効果的な伝え方を意識して文章を書くことができるようにする。<br>【思考・判断・表現】<br>・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理することができるようにする。<br>・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫することができるようにする。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組もうとする態度を養う。<br>・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとする態度を養う。 | ●　聞き取りのレッスン<br>・大切なことを落とさずに、正確に書く。<br>・自分にとって必要な情報を意識して、メモをとりながら聞く。<br><br>●　ミニインタビューをしよう<br>・必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞く。<br>・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。<br>・聞き取った情報を活用するためのメモを取る | ○ | | | 【知識・技能】<br>・話し言葉の特徴や表現の特色をふまえ、正確に聞き取っている。［(1)イ］<br>・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。［(1)イ］<br>・書き言葉の特徴を理解し、わかりやすさや適切さ、効果的な伝え方を意識して文章を書いている。［(1)イ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。［A(1)エ］<br>・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。［A(1)ア］<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組もうとしている。<br>・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 答案返却 | | | | | | | | | 2 |
| | 論理を読み取る<br>【知識・技能】<br>・主張と根拠など情報と情報との関係について理解することができるようにする。<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができるようにする。<br>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解することができるようにする。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握することができるようにする。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に学習に取り組み、主張とその根拠、具体と抽象の関係をとらえようとする態度を養う。 | ●　論理の展開<br>・主張と根拠、具体と抽象、対比の関係をとらえる。<br><br>●　水の東西<br>・対比の関係に着目し、その意図を考えながら読む。<br>・具体例の働きや具体と抽象の関係をとらえ、筆者の主張を読み取る。 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。［(2)ア］<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。［(2)イ］<br>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。［(1)カ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。［C(1)ア］<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に学習に取り組み、主張とその根拠、具体と抽象の関係をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 答案返却 | | | | | | | | | 2 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | わかりやすく説明する<br><br>【知識・技能】<br>・話し言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解することができるようにする。<br>・話の効果的な組み立て方について理解することができるようにする。<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、読み手の理解が得られるよう、表現のしかたを工夫することができるようにする。<br>・「話すこと・聞くこと」において、スピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にして、話の構成や展開を工夫することができるようにする。<br>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識することができるようにする。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・ショートスピーチをすることに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとする態度を養う。 | ●ショートスピーチをしよう<br><br>・目的や読者に応じて、わかりやすい説明になるように情報を整理する。<br>・目的や読者に応じて、説明のしかたを工夫して書く。<br><br>・話の構成や展開を工夫して話す。<br>・声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識して話す。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】<br>・話し言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。［⑴イ］<br>・話の効果的な組み立て方について理解している。［⑴オ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、読み手の理解が得られるよう、表現のしかたを工夫している。［⑴ア、ウ、⑵イ］<br>・「話すこと・聞くこと」において、スピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にして、話の構成や展開を工夫している。［A⑴アイ］<br>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識している。［A⑴ウ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・ショートスピーチをすることに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査　答案返却 | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | 合計<br>70 |